

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	わが国における甲状腺未分化癌臨床情報データベースの作成
	研究目的	日本甲状腺未分化癌コンソーシアムによるデータベース登録事業として、甲状腺未分化癌症例の診断、治療、予後等の基礎データを取得・解析することで、難治性希少癌である本疾患の治療成績の改善の基本情報を集めます。本研究の成果は診療ガイドラインにも収載されています。信頼性の高い臨床情報のデータベースは、今後も甲状腺未分化癌診療の評価と治療成績の発展に必須のものです。
	研究対象者	1995年以降当センターで甲状腺未分化癌の診断を受けた患者さん
	研究期間	西暦 2019年7月23日～西暦 2028年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	岩崎 博幸
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	日本医科大学(代表研究者;杉谷巖)、大阪市立大学(代表研究者;小野田佳尚)が共同研究の代表施設となり、全国約70施設が参加しています。